

# ドリームネッツ SNS型ツール「チーム手帳」

リコーと共同開発し提供開始

スマホアプリの企画開発、Web制作、Webサービスの受託制作を行う(株)ドリームネッツ(福山市元町13-20、井上一成社長)

が、(株)リコーと業務・資本提携を締結の上、共同開発したアプリの提供を開始した。完成したアプリはコミュニケーションツール「チーム手帳」。SNS

Sアプリと同様の機能やカレンダー機能を備えつつ、アプリによる情報漏えいを防止。さらに社内でのコミュニケーション向上や情報共有に役立つ。

近年の企業では働き方が変化し、在宅勤務やリモート勤務など働き方の多様化やIT化により、顔を合わせたコミュニケーションが減少する中、無料のSNSアプリを活用しているケースが増えている。しかしプライベートアカウントをビジネスで使いたくないといったプライバシー面、情報保護などセキュリティ面での課題があった。

そこで「チーム手帳」は、プライバシーやセキュリティが守られる、独自アプリ

リとして開発。メッセージ、写真、動画、各種ファイルを送受信できるチャットやスケジュールを管理するカレンダーをベースに、会社の理念を登録できたり、毎日格言が送られてくるサービスなどを追加した。

井上社長は「イメージしたのは社員手帳。かつては一人に一冊、社員手帳が配られていた。社員手帳は個人のスケジュールを管理するだけでなく、会社の理念やビジョンを記したページがあり、会社の方向性やトップの考えを自然と共有できる仕組みがあった。チーム手帳は、いわば現代版の社員手帳」と話す。

最も特徴的なのはチャットで活用できるスタンプ。チーム手帳のスタンプはビジネス用途に厳選し「感謝」「ヘルプ」「あいさつ」などのさまざまな属性に分類。心理学に基づいて考案されたスタンプを搭載し、スタンプの使用でチーム内の信頼度や達成感を高めるきっかけを狙う。

また経営者や管理者にはコミュニケーションの状況を数値化できるダッシュボードがあり、ツールの利用状況はもちろん、会話やスタンプの送信数を集計することでチーム内の雰囲気や把握できるように工夫も施されている。

井上社長は「コミュニケーションはもろ刃の剣。送り手と受け手、世代間、個人によって差がある。上司とのやりと

りで使用するスタンプや絵文字に悩んだり経験がある人も少なくないはず。チーム手帳のスタンプはすべてビジネス利用のために制作した。業務連絡だけでなく、あいさつや日常会話、感謝、助け合い、称賛などのコミュニケーションが活発になり、チーム内の人間関係を良好に保つカギになるはず」と話す。

今後、利用者のフィードバックなどをとに、さらに機能を改善・追加していく予定。チーム手帳は、初期費用3万円、基本契約(10アカウント含む)は月額4千円だが、現在キャンペーン中につき3千円となっている。詳細はチーム手帳公式ホームページ<https://www.teamtech.com>

問い合わせTEL084・973・3521ドリームネッツ

